

東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地域連携事業の戦略展開～の概要

I【策定方針】

＜位置付け＞ 県、市町村、経済団体、観光関係団体、大学、民間事業者、NPO等が連携・協働して展開する実施計画

＜策定主体＞ 東三河ビジョン協議会（県、東三河の8市町村、経済団体、大学等で構成）

＜計画期間＞ 平成27年度から平成29年度までの3年間

＜3つのリーディングプロジェクト＞

地域が連携して早期に取り組むべき個別事業（リーディングプロジェクト）として次の3つを抽出し、核となる自治体を中心となって、産学官連携の下、早期具体化に向けた取組を戦略的に展開

1 アンテナショップ等を拠点とした地域ブランドの強化と販路拡大（とりまとめ：豊橋市）

2 戦略的な加工食品開発による海外輸出の本格化（とりまとめ：田原市）

3 東三河ジオパーク構想の推進（とりまとめ：新城市）

II【各リーディングプロジェクトの主な取組内容】

1 アンテナショップ等を拠点とした地域ブランドの強化と販路拡大

(1) 東三河アンテナショップの設置・運営

- ・ 首都圏に東三河の農林水産物・加工品等を販売するアンテナショップ(スペース型)を平成28年度までに設置し、地域の魅力発信や新商品開発・販路開拓の情報収集等に活用
- ・ 運営状況等を踏まえながら、より本格的なアンテナショップの开店に向けて検討

(2) 首都圏の高級スーパーとの連携等による地域ブランドの強化

- ・ 首都圏の高級スーパー等をメインターゲットに、東三河の農林水産物等を売り込み
- ・ 売場や店舗広告、商品パッケージ等を活用した東三河のプロモーションを展開

(3) 東三河の食材を提供しているレストラン等と連携した東三河の魅力発信

- ・ 東三河の食材を提供するなど当地域とゆかりがあるレストランや小売店等(=パートナーレストラン、パートナーショップ)を発掘・開拓し、「いいともあいち運動」等と連携しながら東三河をPR
- ・ アンテナショップや東三河の自治体・経済団体等が首都圏で実施するイベント等の情報をホームページやSNS、冊子等で効果的に発信

＜推進体制＞

- ・ 豊橋市首都圏活動センターが戦略的情報発信の拠点となり、経済団体や観光関係団体、民間事業者、県、市町村等がそれぞれの強みを発揮しながら、地域ブランドの強化・販路拡大の取組を推進

2 戦略的な加工食品開発による海外輸出の本格化

(1) MD(製品化)計画の策定支援

- ・ 県や市の海外派遣職員、バイヤー等からの現地情報に基づき輸出先を絞り込み
- ・ 現地マーケット調査や開発製品のモニタリング結果等を踏まえたMD計画の策定を支援
- ・ 国のオールジャパンでの戦略の動向を踏まえて東三河統一ブランドのあり方等を検討

(2) 農水産物等を活用した輸出戦略加工品の開発促進

- ・ 食農産業クラスター推進協議会を活用し、東三河の農水産物等を用いて、「健康」をキーワードとする新たな加工品の開発を促進（平成29年度までに5品目）

(3) 現地バイヤーの招聘やマッチング支援等による輸出事業者の裾野拡大

- ・ 現地バイヤーなど専門家を招聘し、セミナー等による海外マーケットの情報提供や、生産農家や食品事業者とのマッチング、商品開発に関するアドバイスを実施

＜推進体制＞

- ・ 東三河県庁のもとに設置した東三河地域産業連携推進会議、豊橋田原広域農業推進会議等を母体として、東三河の行政、経済界、JA等の連携による推進体制を構築
- ・ 具体的な商品開発の担い手となる食農産業クラスター推進協議会の一層の機能向上を図るため、東三河の生産事業者・加工事業者に対し、同協議会への参画を要請

3 東三河ジオパーク構想の推進

(1) 東三河ジオパーク構想のとりまとめと推進組織の立上げ

- ・ 東三河ジオパーク構想をとりまとめるとともに、地域を巻き込んだ強力な運営体制「東三河ジオパーク構想推進協議会(仮称)」を平成29年度までに立ち上げ、保全・整備計画を策定

(2) ジオツアーの実施やボランティアガイドの育成支援

- ・ 教育機関が先行開催中のジオツアーに基づき、サイトごとにジオガイド養成講座を開催
- ・ 東三河各地で特色あるジオツアーを展開しつつ、新たなサイトやコースを開拓

(3) 観光や教育等と連携した取組の推進

- ・ 観光や学校教育、市民、博物館、研究者、大学、商工と連携した取組を進め、地域内外への情報発信を推進

＜推進体制＞

- ・ 豊橋市自然史博物館と鳳来寺山自然科学博物館が中心となって、東三河ジオパーク構想をとりまとめ
- ・ 地域が一体となった推進組織の立上げを目指し、東三河県庁の連絡調整のもとに連絡会議を開催しつつ、市町村、学術・教育機関、観光関係団体、経済団体、NPO等の幅広い賛同が得られるよう取組を推進

III【推進プランの進捗状況の把握及び見直し】

- 各リーディングプロジェクトの中核機関、県、市町村が連携・協力しながら、毎年度、推進プランに基づいて実施する取組の進捗状況の把握及び評価を実施し、東三河ビジョン協議会へ報告
- 東三河ビジョン協議会において、社会経済環境の変化を踏まえて、随時ローリングを行い柔軟に見直し

IV【平成26年度先導事業 東三河農林水産物ブランド化推進事業】

- ①首都圏における東三河の農林水産物のテストプロモーションの実施
- ②東三河の農林水産物を活用した輸出戦略加工食品の企画開発